

戒翁寺 神奈川県川崎市麻生区早野 777

早野にある戒翁寺近くの御堂山（おどやま）に、土地の人から「殿様の墓」といわれる石造五輪塔（ごりんとう）が4基造立されています。江戸時代の後期に書かれた『新編武蔵風土記稿』などの史料により、戦国大名の後北条氏の家臣で小田原落城後、徳川家康の家臣となった富永重吉とその一族の墓であることがわかっています。

形態的な特徴に宝珠の形をしている空・風輪と呼ばれるとんがり帽子の先端や火輪と呼ばれる笠の四隅を尖らし先端をそらせるなど江戸時代の特徴をよく表現しています。

山門を入ると六地藏とマスクをつけたお地藏様(文政6年)、念仏塔(寛政3年)、道祖神(文政6年)があり、よく見えなかったが延宝と刻まれている(?)庚申塔もあった。



4つの五輪塔(殿様の墓)



本堂



六地藏



マスクを付けたお地藏様、念仏塔、道祖神



庚申塔